

(3) 平成22年(2010年) 6月21日(月曜日)

# 「過去と向き合うことが 世界平和につながる」

松江

国際平和ミュージアム名誉館長 安斎育郎氏が講演

立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長で、同大学の特命教授、名誉教授を務める安斎育郎氏が十九日、松江市乃木福富町にある小松電機産業社内の太陽ホールで、「私たちは何を価値とし、どのように生きるのか?」と題して講演を行った。

同社太陽の会、財団法人人間自然科学研究所(小松昭夫理事長)の主催。冒頭で、主催者を代表した小松理事長が、「昨今の混乱した世界情勢の中で、世界の平和の確かな流れをつくるための先駆けとして企画した」とあいさつ。続いて講演した安斎氏は、得意としている手品を見せながら、物事を一面的に捉えるのではなく、多面的に捉えることの大切さを説き、「自分の好み(主

題的命題)に合わなくとも、事実(客観的命題)は事実として認め、過去と誠実に向き合うことが、世界平和につながる」と指摘した。また、日本と朝鮮半島の関係に触れながら、「日本と朝鮮半島の関係の転換は、地球の命運を変える人類の貢献になると考えている」と語った。

この日は、同講演に先立ち、小松電機産業から国際平和ミュージアムへ、同社の新型シートジャケット「門番G

F型」を贈呈。また、害に対応する宮崎県へ「島根発のプログラム」の義捐金百万円の寄付、グ言語「Ruby」の



講演を行う安斎氏=19日、松江市乃木福富町、小松電機産業社内太陽ホールで

国際会議「ルビーフー  
ルドカンファレンス」  
への二十五万円の寄付  
が発表された。